



三到図書館 ニュース

2009年4月発行
No.64

J. F. Oberlin University Library

巻頭メッセージ
情報収集の第1歩
読書の楽しみ
学生インタビュー

図書館から新入生になる君たちへ
図書館読書運動プロジェクト活動報告
新規導入データベース紹介
新規購読雑誌の紹介

巻頭メッセージ

大学図書館の品格

ビジネスマネジメント学群教授・副学長 宮下 幸一

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学に入学した皆さんが、まずしなければならないことは、履修登録をすることでもなく健康診断を受けることでもなく、まず大学図書館の扉を開くことです。大学図書館は、その大学の全てを物語ってくれます。乱雑な図書館はその大学の粗雑さをあらわし、整然とした図書館はその大学の秩序をあらわします。蔵書の特性はその大学の教育の質をあらわし、図書館職員（ライブラリアン）の姿勢は図書館のプライドを示しています。大学は、中学・高校の延長にあるのではなく、人々の、そして貴方の知的欲求を支える場として存在しています。大学は義務教育の場でもなければ必ず入らなければならない場でもありません。大学で学ばなくても人生に支障をきたすわけでもありません。それにもかかわらず大学に進学して学ぶのは、人類の、そして自分自身の豊かさを高めるためです。大学はそうした学生達に、世界と、そして自分を反省的に捉えることの出来る場を提供しているのです。大学図書館はその最も集約された場所です。

昨今大学の図書館は、新しい時代の機能を盛りだくさんに組み込み、高度な情報化武装を競って構築し、贅沢な設備と空間を提供することでその存在意義と価値を示そうとするかのように見受けられます。しかし大学図書館が最も本質的に提供しなければならない機能は、「思考の場」を提供することにあります。大学図書館をそのような目で捉えるのも、大学に入学した皆さんの最初の仕事であろうと思います。

さて、桜美林大学の図書館がその目的を担っている



かどうかの判断は皆さんにお任せするとして、昨今「品格」をタイトルにした書物が多くみられます。そのいずれもベストセラーになっています。『国家の品格』、『女性の品格』、『親の品格』、『会社の品格』などは皆さん良くご存知のことでしょう。このように見た時、大学図書館の品格も議論されてしかるべきかと思います。大学図書館の利用マナーが云々される昨今ですが、大学図書館の本質を理解するなら、図書館利用の仕方もおのずと変わってくることでしょう。大学図書館に愛着とプライドを持ちたいものです。

最後になりましたが、筆者の主たる教育現場であるビジネスマネジメント学群の皆さんに少し希望を述べることにします。大学に入ったら資格や免許を取りたい、すぐに役立つことを学びたいと考える人が多いのですが、重要なことはこれから歩む60年の人生に役立つ「学び方・考え方を学ぶ」「本質を理解できる方法を学ぶ」という姿勢を持って勉強して欲しいということです。学ぶということは、自らの問いに自らの力で応えることです。大学図書館はそうした学生に多くの知恵を与えてくれるはずで

図書館の活用からはじめる地球惑星科学入門 ～ 地域の環境を知り 旅行をより楽しむために ～

リベラルアーツ学群准教授 根本 泰雄

皆さんは、これまでに何回、図書館へ行きましたか。図書館を十二分に活用しないのはMOTTAINAIことです。なぜなら、図書館で得られる情報は多種多様だからです¹⁾。例えば、旅行に出て、素晴らしい景色がどのようにしてできたのか、不思議に思ったことはありませんか。こうした疑問への解決の糸口が図書館にはあります。

桜美林大学図書館、『三到図書館』に足を運んでみましょう。三到図書館は、NDC（日本十進分類法）で図書が整理されています²⁾。「自然科学」に関する図書は、4類（400番台）に分類されます。三到図書館では、4類の図書は4階に配架されています。その中で、「地球惑星科学」は4類5綱（450番台）「『地球科学・地学・地質学』と三到図書館では表示」に分類されます。450番台の本が配架されている書棚にたどり着けたでしょうか。

大学院生以上が読むような難しい専門書も多く、読めそうな本が無いのではと悲観するかも知れませんが、学生なら誰でもが読める本も配架されています。



図1 淵野辺駅周辺の今昔(上が北です)

上図は現行の2万5千分1地形図による淵野辺駅周辺で、鹿沼公園の池は水色に塗られている。下図は大正14年発行の2万5千分1地形図による淵野辺駅周辺で、青い部分が凹地や湿地帯。(国土地理院発行、2万5千分1地形図「原町田」平成11年発行版、および旧版地図2万5千分1「原町田」大正14年発行版による。下図の着色は著者による。)

例えば、4類5綱5目（455番台）「『一般地質学』と三到図書館では表示」を眺めてみましょう。その中から、“神奈川の自然をたずねて”（455.1/N71/20）を覗いてみましょう。13章「相模原台地北部」に「鹿沼公園」とあります。鹿沼公園は、淵野辺駅近くの大きな池のある公園です。この池の由来を、この本から知ることができます。今の土地活用は、昔の地形を利用していることが読み解けます（図1）。ダイダラボッチ（映画『もののけ姫』では、神の夜の姿として描かれている）の伝承がなぜ生じたのかを理解する手掛かりともなります（凹地は、ダイダラボッチの足跡と伝承されている）。昔の地形、すなわち昔の環境を知ることが民俗学とも繋がるのです^{注1)}。

次に、“日本列島ジオサイト地質百選”（455.1/Z3）内の「Number 30 城ヶ島」を覗いてみましょう。読後に城ヶ島を訪れたなら、景色の新しい見方に気が付き、旅行の楽しみが増えることでしょう。地球惑星科学の知識は、旅行での楽しみ度アップにも役立つのです^{補足1)}。

以上、図書館で得られる情報の一例を記してみました。図書館を活用して様々な分野に触れ、地域の自然・環境を考えてみたり、今後の旅行に地球惑星科学の視点を入れ、より一層楽しい旅行としてみませんか。

参考文献

- 1) 井手弘人・内藤克浩・根本泰雄『理学部に合格したら読む本：大学生活応援ガイド』化学同人、2007、p.61-64（377.9/119）
- 2) 矢部知美「大学図書館【中級編】本の並びについて」『三到図書館ニュース』63、2008、p.7

注・補足

注1) 2年生向けの科目「地盤と環境」でも、こうした話題を授業で取り上げています。ダイダラボッチと昔の地形・環境との関係を知りたいようであれば、受講してみてください。

補足1) 400番台の本からだけではありません。5階に移動してみましょう。『M8』(913.6/Ta54)、『津波』(913.6/Ta54)、『震災列島』(913.6/I73)など、地震を題材とした小説が見付かります。火山を題材とした『死都日本』(913.6/I73/S)などもあります。「理科」や「数学」は嫌いとか、苦手意識を持っている人は、小説から地球惑星科学に触れてみるのも良いでしょう。ちなみに、『M8』や『死都日本』は漫画化もされていますが、三到図書館にはないようです^{注2)}。まずは漫画から触れてみるのも良いかも知れません。

注2) 桜美林大学には、「図書館に所蔵すべき資料、講義に必要な参考図書、学生に利用させたい資料など」を教員が提案する「選書」というシステムがあります。ここで記した漫画も提案しましたが、今のところ配架されていないようです。配架されるまで楽しみに待って下さればと思います。待てない読者は、他の図書館で探すか、書店で購入して読んでみて下さい。

色彩で感じる読書

総合文化学群准教授（造形デザイン専修）藤崎いづみ

あくまで主観ですが、私は視覚に感知する色彩が比較的豊富だと思いますので、絵画制作で配色に迷うことはあまりありません。大学院の修了制作では、純文学から日本の色彩と様式美を強くイメージする表現手段を探ってきました。スケッチから構図 小下図 色下図 大下図 骨描き 彩色という制作過程の上で純文学を頼りにイメージして制作意識を高めます。たとえば谷崎潤一郎（1886 - 1965）の小説『刺青』にちりばめられた言葉の意匠美、又『母を恋うる記』は隅から隅まで視覚芸術です。

“この間までは黄八丈の綿入に艶々とした糸織の羽織を着て、ちょっと出るにもキャラコの足袋に表付きの駒下駄を穿いていたものが……”

このような小説の情景の絵の中に入り込んでみる。又、『朧』のラブレターの便箋・封筒の表現は日本の伝統的なグラフィックデザインを学習できるようです。

“封筒の寸法は縦四寸、横二寸三分、鶺鴒色地に桜ん坊とハート型の模様がある。桜ん坊はすべてで五顆、黒い茎に真紅な実が附いているもの。（中略）封筒の天地にも金色のギザギザで輪郭が取ってある。レターペーパーは一面に極くうすい緑で鶯の葉が刷ってある上に銀の点線で罫が引いてある・・・”

その他、永井荷風の『つゆのあとさき』、銀座のカフェの女給のストーリーですが、私は銀座通りを絵にするため、この小説のリアリティからヨーロッパ的な何時の時代の良さもある銀座の風景画を制作したこともあります。他には三島由紀夫『宴のあと』など、私にとって「純文学はビジュアル」なのです。

現代はコンピューター技術の躍進で、私の学生時代には予想しなかった情報化革命の恩恵であるパソコン・インターネット上での読書が可能です。でも大学図書館が持つノスタルジックな空間の楽しみ方や、大学生ならではの居心地の良さ、図書館の静かな緊張感

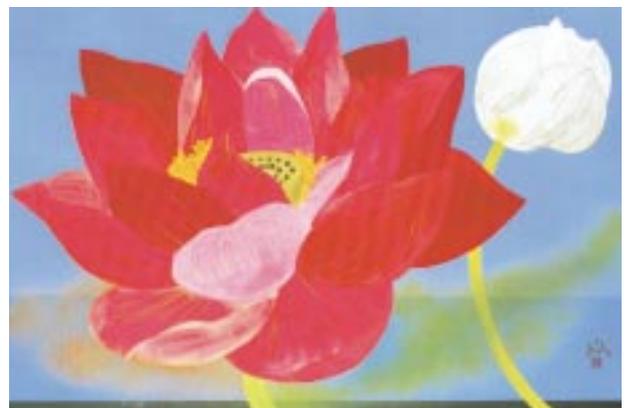
とか、膨大な蔵書の中から選び出した1冊の本とじっくり向き合う時間など、スピーディーな時代だからこそ、これらの対話を大切にしてほしいです。私は造形デザイン専修の教員ですが、芸術系



の学生が「文章を読み、画集の絵を視て」柔軟で感受性豊かな若い人達の力で、図書館の蔵書から自分のアイデンティティを吸収出来るようにと願います。「図書館に行くこと」を日常化する...いまどき、図書館に通うというキャンパスライフは粹な趣味ですものね。

学生時代に何度も繰り返し読み、ページに朱線を引き、書き込みをしたので、手許にある（谷崎潤一郎の）文庫本も古ぼけています。そして、この新潮文庫版のカバー装丁画は日本画の巨匠・加山又造先生です。視ても読んでても不変的に美しい一冊です。興味を持たれぜひ読んでみてください。

（構成 図書館事務課 佐々木俊介）



藤崎いづみ日本画作品「蓮花」97.0cm × 145.5cm

学生インタビュー

こんなふうに図書館を利用しています

いつも図書館を利用している二人の学生さんの図書館でのある一日を取材させていただきました。お二人のマル秘利用術を紹介します。

リベラルアーツ学群 2年 今井智絵さん



図書館はよく利用しています。今日は本を借りにきました。

[学生証を通して入館] 最初はカードの向きがわからなかったけど、すぐに慣れましたよ。

読みたい本は事前にOPAC^{*1)}で検索して、「マイライブラリ^{*2)}」の「マイフォルダ」に登録しています。フォルダは授業ごとに作っています。「読みたいもの」フォルダに入れておいた3冊を今日は借りに来ました。



図書館のパソコンで「マイフォルダ」に入れておいた図書のタイトルと請求記号^{*3)}をメモします。冬休みの長期貸出がちょうど始まったので、今借りると冬休み中も利用できます。

[資格・就職本コーナーで] 前から借りたいと思っていたTOEICの本がありました。これも借りよう！スピーキングライティングの試験を受けるんです。

[5Fへ] 5Fにある日本語教育の本から探します。『初級日本語げんき』（請求記号：810.7/B19/S1）日本語教育の授業で、日本語の教科書を見てくるように言われました。日本語教育関係の本は自分で買うにはちょっと高いので、図書館で利用しています。



[4Fへ] 『食べるアメリカ人』（請求記号：383.8/Ka86/T）授業でアメリカの文化についてブックレポートを書くように言われています。文献リストに載っていた中で興味があった4冊のうち図書館にあったのはこの本だけでした。他の3冊も図書館に置いてほしいと先生にリクエストしています。購入希望で買ってもらえるようなので、申し込んでもいいかな。



[2Fへ] フロアマップで場所を確認します。

『田中正造之生涯：伝記・田中正造^{*4)}』（請求記号：



289.08/D58/(83)）先生に薦められたけど、ちょっと難しそう。荷物も重くなってしまうので今日はやめておきます。



[貸出カウンターへ] 貸出のときも学生証が必要です。



手続きをしてもらい、今日の目的は終了。本を探すとき、タイトルと請求記号をメモしたけど、何階かという情報も必要ですね。

図書館からのコメント

マイライブラリや授業に関連のある図書から資格試験の本まで有効に活用している、図書館利用の上級者ですね。田中正造についての本は今回確認した図書の他にもいくつか所蔵しています。新書や文庫本など、入門的な本もあるので、次回チャレンジしてくださいね。また、購入希望へのリクエストもお待ちしています。

用語説明 *1) OPAC...桜美林大学図書館の蔵書を検索することができます。 *2) マイライブラリ...図書館の利用状況の確認などができる個人のページ。
*3) 請求記号...本のラベルの番号。この記号順に本が並んでいます。 *4) 田中正造...明治時代の政治家、社会運動家。

総合文化学群1年生 野田裕平くん

いつも1Fロビーの新聞をよく読んでいます。ソファのところで、朝日、毎日、日経などを、並べて読んでいます。他に誰もいない時間帯などはゆったり読むことができます。



だいたい一面からめくって行って、興味のあるところを読みます。朝日なら天声人語などのコラムを読んで、関連する記事などをチェックします。先日の記事では、朝日と毎日で内閣支持率が1%違っていました。新聞によって、内容や視点が違うのが面白いと感じています。日経は経済の流れがわかるのと、就職に有利と聞いて読んでいます。

一人暮らしだから新聞をとっていないのですが、高校の先生には「図書館に行って、新聞を読むように」と言われました。新聞に掲載されている本の書評なども参考に使っています。



地元の記事が載っているのを見つけたときも嬉しいです。最初は、気になった新聞の記事をコピーしてノートに貼っていましたが、新聞の記事を検索することができるDB(データベース)があると知って、気になるトピックはDBで検索してチェックするようになりました。今日は、とりあえず朝日の『聞蔵^{*5)}』で検索してみます。



自分の関心のあるテーマで、「雇用問題」で検索。「雇用問題」から「蟹工船」に関する記事へ。『蟹工船』は、自分はまだ読んでいないけど、友だちも結構読んでいて、流行なのかなあ…。DBは

古い時期の記事も調べたりできるので、結構便利なんです。記事を読んで面白いものが出てきたら、その記事

に出てくる言葉をキーワードにしてさらに検索してみたり、他の新聞DBで検索してみたりしています。すると、面白い記事が色々出てきます。日経の『日経テレコン21^{*6)}』では「企業検索」をしてみたり「きょうの新聞」をチェックしたりもしています。



友人との会話では、ディベート(色々なテーマについて語り合う)が好き。自分は中途半端なのは嫌いなので、色々な事柄についてちゃんと知っておきたいと思っています。辞書が好きで、小さいころから結構読んでいました。雑誌は、『シナリオ』でシナリオの書き方を讀んだり、『演劇ぶっく』や『キネマ旬報』で見たい映画を選んだりしています。



経済関係の『週刊東洋経済』なども読んでいます。先日は桜美林の記事が出ていました(2008年10月18日号)。



雑誌も新しい方の未製本雑誌は貸出できるので、借りることもあるけど、貸出期間が(図書と違って)1週間と短いので注意が必要です。

図書館からのコメント

「図書館」というと、まず最初にイメージするのは、本がたくさんある、ということかもしれませんが、野田くんが活用しているように、新聞や雑誌ももちろんあります。また、それらを検索できるDBも多数揃えています。日経新聞のDBや、経済関係の雑誌などは、就職活動をする際にも役に立ちますので、ぜひ使ってみてください。

(取材日：2008年12月11日)

図書館から新入生になる君たちへ

図書館は学びのパートナー

副図書館長 堀 潔

新入生の皆さん、桜美林大学へようこそ。これからの4年間、図書館は皆さんの学びのパートナーとして、さまざまな役割を果たしていきたいと考えています。皆さんの積極的な利用を期待すると共に、資料検索などでわからないことがあれば、気軽に質問して下さい。

昨年度、本学で授業を担当されている先生方に、図書館の利用についてのアンケートを行いました。そのなかで、ほとんどの先生が「指定図書を指定した」「授業で参考文献リストを配布した」「図書館の資料を使わなければならない課題を出した」「学生に対する特別のガイダンスをやってもらった」など、授業時間以外の時間に図書館等を利用して学習することを学生に勧めていらっしゃる事がわかりました。また、約3割の先生は、授業のなかで学生に図書館を利用させる工夫をしていらっしゃいます。図書館は皆さんのよりよい学びのために重要な存在なのです。

また、私は学生諸君に、「人生を考える場所」として図書館を見てほしい、と考えています。経営者が書いた本でも学問書でも、はたまた小説でも、人々の考えや行動に大きな影響を与える本は数多くあります。どうかこの4年間に、そうした「人生の参考書」と出会い、自らの将来について積極的に考える機会をつかんでください。

図書館読書運動プロジェクト活動報告

万城目学さんとの拡大読書会と読書マラソン表彰式

2009年1月15日に、作家の“万城目学(まきめまなぶ)”さんを迎えての拡大読書会が開催されました。これは、読書運動プロジェクトの企画としては、昨年1月の三浦しんさんとの読書会に続く大がかりなものとなりました。

今年も拡大読書会に先立って、読書マラソンの表彰式が行なわれました。読書プロジェクトメンバーから、桜美林コメント大賞、図書館長賞などが発表され、受賞者が表彰されました。今回は昨年とは異なり、「コメントカードの枚数ではなく内容で勝負」ということだったのですが、全体では600枚以上のコメントカードが集まりました。コメントをよせてくださったみなさん、ありがとうございました。



拡大読書会は、読書プロジェクトメンバーからの質問で始まりましたが、今回も学生たちは事前に読書会とミーティングを行なって質問したい項目をまとめたようで、読書プロジェクトメンバーの女性陣は次々と質問を投げかけていきました。

作家になるに至ったきっかけは、「就職活動等、将来を考えなければいけなかった学生時代の不安定な時期に、街を歩いていたら風が気持ちが良いことがあった。このときの感触は今書き留めておかないと忘れてしまう、と思って書いたのがきっかけ」とのことです。ただ、その当時は作家になるとは思っていませんでした。自分の書きたいことを書きたいと思っていたので、編集者になりたかったわけでもないし、マスコミ関係の記者になりたかったわけでもなかったとのこと。とりあえず就職してみて、それでも書きたい気持ちがあったら、書き続けようと思っていた、とのこと。その後、就職してしばらく企業で働いてみましたが、やっぱり書きたい気持ちが高まったので、作家への道を目指すことになりました。



ストーリーを考えてから書くのか、登場人物を決めてから書くのか、という問いに対しては、「『鴨川ホルモー』はタイトルを決めてから書いた。『ホルモー』だったらいけるだろうと思って、『ホルモー』という言葉が存在しない、ということを確認した。」とのこと。登場人物を決めて書く、というようなことはほとんどない、とのことでした。

また、読者がよくききたがる「この話の続きはどうなるのですか?」ということについて、「一般的に多くの作家は、その後のストーリーまで考えていないと思いますよ。どうなるのかな、と思わせるところまでで、その後は読んだ人それぞれの想像力にお任せ、という作家が多いと思いますよ。」という意外なお答えでした。他の作家のみなさんはどうなのでしょう...

生活や気持ちの切り替えなどに関して、「好きなことをやっているのだから、つらいと思うことはあまりない」とのことでした。「書けない、というつらさはあっても、興味のない仕事をやらなければいけなかったり、上司との人間関係に悩んだり、というようなこともなく、書くこと自体は好きでやっていることだから...」とのことでした。別の面では、ゲームが結構好きで、聴きにきていた学生とプレイステーションの話で盛り上がりました。学生からの「ゲームと書くのと、どっちが好きですか?」という問いには、「そりゃ、ゲームでしょう!」というお答えでした。「気分が乗らないときは、とことんゲームをやって、ゲームはもうしばらくやらなくていい、という気分になってから書く。」とのことでした。

聴きにきていた総合文化学群の映画コースの学生の質問から、作品の映画化についてのお話にもおおよびました。ちょうど、この拡大読書会の翌日が、できあがった作品を初めて見られる試写会のような機会、というタイミングだったようです。一般的に原作とそれをもとにした映画やドラマが異なった仕上がりになる作品が結構あるが、なぜそういうことが起こりうるか、といったようなことにも話はおよびました。

...といったような感じで話は尽きませんでしたが、あっという間に、トークの時間は過ぎてしまいました。話の内容は多岐にわたって、盛りだくさんだったように感じました。学生たちも万城目さんのお話から様々なことを感じたことでしょう。

新規導入データベース紹介

桜美林大学では、2008年度にも新しいデータベース(以下DB)を導入し、学生や教職員の皆様が利用できるDBの種類が増えています。各DBの入口や概要説明は、図書館ホームページのDBのページに用意してありますが、ここでは、2008年度に新たに導入されたDBでおすすめのをいくつかご紹介したいと思います。

・Britannica Online Japan

『ブリタニカ国際大百科事典』(“Encyclopædia Britannica”の日本語版)のオンライン版です。“Encyclopædia Britannica”は、1771年に初版が発行されてから今日まで約240年近くにわたって、改訂されながら刊行されている英語の百科事典です。桜美林大学図書館では、英語 第15版(1994年)(請求記号:033/N68/94)、日本語改訂版(1988年)(請求記号:031/B74)の冊子体を所蔵しています。“Britannica Online Japan”には『ブリタニカ国際大百科事典』と『ブリタニカ国際年鑑』の他に、音声や動画が収録されており、Global Reference Centerでは、英語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語のブリタニカ百科事典を利用することもできます。

先生からのおすすめの一言

レポートを書かなくてはいけないけれども、何から手をつけてよいのかわからないという経験はありませんか。そのような時には、まずこの事典(Britannica Online Japan)を使ってみてください。この事典にはあらゆる分野の知が集約されていますので、なんらかのヒントを得られるはずです。さらに英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語版の事典も利用できますので、語学学習のツールとしてもお勧めです。

松久保 暁子 / 基盤教育院

・化学書資料館

日本化学会が編集しているレファレンス資料を利用できるサービスで、約150冊、約83,000ページの情報を利用できます。『化学便覧 基礎編(改訂5版)・応用化学編(第5・6版)』『標準化学用語辞典(第2版)』『実験化学講座』等、冊子体では何十冊にも分かれている資料を、オンラインで一度に検索・閲覧できます。論文・レポート作成の資料としての利用の他に、実験などに活用できます。

先生からのおすすめの一言

化学便覧、実験化学講座、標準化学用語辞典などの化学分野の参考図書をWeb上で総合的に検索できるサイトです。本文を閲覧でき、化学物質の構造、性質、合成法、分離法などを調べたいときに役立ちます。レポート・論文作成に便利です。

秀島 武敏 / リベラルアーツ学群

・Oxford English Dictionary Online

『オックスフォード英語大辞典』(“Oxford English Dictionary(OED)”)は世界最大の規模と権威をもつ著名な英英辞典です。1989年に第2版が全20巻で刊行され、その後の補遺(Additions Series)全3巻と合わせて全23巻で構成されています。冊子体は図書館本館3Fの参考図書コーナー(請求記号:833/O93)にあります。“Oxford English Dictionary Online”は第2版のオンライン版で、補遺全3巻の内容も含まれています。データは年に4回更新され、語句の改訂や新語の追加が行われます。

OEDは収録した語彙について、語源や初出の年代や用例を示すと共に、11世紀から現代までの意味や用例の変遷が記録されている点が特長です。これらにより、単に言葉の意味を調べる事の他に、英語の歴史を知ることができるのも大きな特長です。

先生からのおすすめの一言

OED(Oxford English Dictionary Online)は約50万語が収録された世界で最大の辞書です。人それぞれに歴史があるように、語にも歴史があります。語がどのような歴史の中を生きてきたのか、語がはじめて登場した年から始まり、現在に至るまでの語の歴史が、用例、用法を挙げて詳細に記述されています。英語を本格的に学ぼうという皆さんには必須の辞書です。是非チャレンジしてみてください。

松久保 暁子 / 基盤教育院

・The Times Digital Archive 1785-1985

1785年にロンドンで創刊された“The Times”の、創刊号から1985年までの200年分をデジタル化したものです。デジタル化に際して全ての記事、イラスト、写真、広告などが全文検索で利用できるようになり、記事の見出しのみならず、記事本文を検索することが可能です。記事単位での表示はもちろん、紙面全体の表示・印刷も可能ですので、様々な利用ができます。記事検索ツールとしての利用だけでなく、政治史、経済史、経営史、広告史、大衆文化史、社会史などの研究にも有用です。

先生からのおすすめの一言

イギリスの新聞を代表するThe Times紙の1785年から1985年までの記事が桜美林大学のPCで読めるようになりました。事件やイベントの報道は言うに及ばず、著名人の追悼記事や読者の手紙、求人情報、広告にいたるまで研究材料がぎっしり詰まっています。キーワード検索や図版検索も簡単です。

出島 有紀子 / リベラルアーツ学群

図書館からのお知らせ 2

ProQuestの学外からのアクセスが可能になります

ProQuest社のデータベースが学外からも使えるようになりました。

IP認証による、学内専用DB(データベース)としてご利用頂いていた、ProQuest社提供のDBが、学外からも使えるようになりました。学外から利用する場合は、以下の手順でご利用下さい。

1. 図書館ホームページから「マイライブラリ」にログイン。
2. マイライブラリ内の、アクセスボタンを選択。

利用できるDBは複数あり、DBによってインターフェース(検索画面)が異なります。24時間いつでも自宅などからご利用できますので、ぜひご活用下さい。

< ProQuestインターフェースでの提供 >

• ABI/INFORM Research

ビジネス・経済関連の学術雑誌、一般紙、業界紙、新聞を収録するDBです。約4,000タイトルの索引と、そのうち約3,000タイトルの全文(フルテキスト)を利用できます。

• Academic Research Library

芸術、ビジネス、金融、教育、心理学、保健医療、医学、法律、政治、宗教、科学技術といった幅広い分野の学術雑誌を収録しています。3,000タイトル以上の索引と、そのうち約2,500タイトルのフルテキストが利用できます。

• ProQuest Psychology Journals

心理学に関連する雑誌約570タイトルを収録しています。そのうち約390タイトルはフルテキストが利用できます。

• ProQuest Social Science Journals

社会学および関連分野の雑誌約510タイトルを収録しています。そのうち280タイトル以上がフルテキストで利用できます。

< CSA Illuminaインターフェースでの提供 >

• PsycINFO

APA (American Psychological Association) 制作の心理学分野の索引・抄録DBです。ProQuestインターフェースで提供されているDBにフルテキストが収録されている場合は、リンクが表示されます。

図書館からのお知らせ 3

新規購読雑誌について

新規購入逐次刊行物(雑誌・新聞)リスト 2008年に新規購読を開始した雑誌・新聞と、2009年から新規購読開始予定の雑誌・新聞をご紹介します。ぜひご利用ください。

2008年

	タイトル	種類	所在
1	Airline	洋雑誌	町田
2	Aviation week and space technology	洋雑誌	町田
3	Flight international	洋雑誌	町田
4	エアワールド	和雑誌	町田
5	あるじゃん	和雑誌	町田
6	月刊CM index : consumers' mind index	和雑誌	町田
7	月刊放送ジャーナル: ミニコミとマスコミの総合誌	和雑誌	町田
8	月刊民放	和雑誌	町田
9	放送文化: hoso bunka	和雑誌	町田
10	航空ファン	和雑誌	町田
11	航空情報	和雑誌	町田
12	New media : monthly business magazine : ニューメディア	和雑誌	町田
13	日経ニューメディア	和雑誌	町田
14	大學新聞	新聞	四谷
15	国際人権	和雑誌	四谷

ビジネスマネジメント学群のパイロットコースやリベラルアーツ学群のメディア専攻など新しい分野の雑誌を中心に購入を開始しました。

2009年

	タイトル	種類	所在
1	映像新聞	新聞	町田
2	Psychological reports	洋雑誌	町田
3	中国語文(購入を再開しました)	中国雑誌	町田
4	福音と世界(購入を再開しました)	和雑誌	町田
5	体育研究	和雑誌	町田
6	International journal of refugee law	洋雑誌	四谷
7	Journal of Refugee Studies	洋雑誌	四谷
8	国際人権ひろば	和雑誌	四谷
9	高齢者のケアと行動科学	和雑誌	四谷
10	日本看護研究学会雑誌	和雑誌	四谷
11	老年看護学	和雑誌	四谷
12	社会福祉学	和雑誌	四谷

2009年より最新号が刊行され次第、順次購入を開始します。四谷キャンパスの大学院老年学の学生より複写依頼の多かった雑誌が中心です。